

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第3回ふじみ野市都市計画審議会			
開催日時	令和6年10月24日（木） 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後3時00分			
開催場所	ふじみ野市役所 第2庁舎3階 B301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	井上 桂一	市長	高畑 博
	委員	小泉二三枝	副市長	福島 浩之
	〃	久保田 清	事務局	山風呂 敏
	〃	中村 友紀	〃	田中 崇允
	〃	田中 早苗	〃	城田 一伸
	〃	小林 憲人	〃	芋川 正臣
	〃	民部 佳代	〃	円舘 賢一
			〃	齊藤茉由子
			〃	北澤 豊
		〃	上城 政道	
会議の議題	別紙「会議の議題」のとおり			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙「会議の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	都市政策部都市計画課			
議事の確定	確定年月日	令和6年11月14日		
	記名押印 又は署名	役職名		
		会 長	井上 桂一	
	署名人	久保田 清		
	署名人	田中 早苗		

【会議の議題】

・ 審議事項

諮問 富士見都市計画下水道の変更（ふじみ野市決定）について  
意見聴取 ふじみ野市立地適正化計画の策定について

## 【会議の要旨】

諮問 富士見都市計画下水道の変更（ふじみ野市決定）について

①資料に基づき担当課により説明

②説明に対する主な質疑

○埼玉県立ふじみ野高等学校は、公共下水道の普及について要望が多いが、これまで整備をしておこなった理由を教えてください。

→ふじみ野市全域で公共下水道整備を計画しており、市街化調整区域については、川崎地区・駒林地区・大井苗間地区の3ブロックに分けて計画を進めている。市として、令和2年度に市街化調整区域に公共下水道の整備を計画し、令和4年度に着手したが、その時には埼玉県立ふじみ野高等学校については公共下水道整備の計画に載せていなかった。整備に係る費用については社会資本整備交付金を用いているが、国の指針が、汚水の新設整備から雨水の治水へシフトしたため、毎年補助金の要望はしているものの、補助率が悪かったことが要因で進捗率が伸びなかった。

→国土強靱化計画で特に内水被害の対策がなされたことで、汚水よりも雨水対策にシフトした方針になったのではないか。

○大井バスセンターから埼玉県立ふじみ野高等学校に向かって工事をしているが、公共下水道の工事なのか。

また、以前も大井中学校のあたりで工事をしていたようだが、公共下水道の工事をしていたのか。

→大井バスセンターから埼玉県立ふじみ野高等学校の方に向かって公共下水道の工事を進めている。

また、生鮮市場TOPの交差点を境にして、北側が市街化区域、南側が市街化調整区域となるため、北側については本市が発注した工事ではない。

③総員賛成により案に賛成

意見聴取 ふじみ野市立地適正化計画の策定について

①資料に基づき担当課により説明

## ②説明に対する主な意見

- 素案について、多くの施設名等を並列に記載するときは、読点より句点で区切る方が見やすくなると思う。
- 防災指針については、関係課である危機管理防災課と連携しながら進めてほしい。また、文化系施設等も社会教育課等の関係課と連携しながら計画を進めてほしい。
- 誘導施策の進捗状況と目標値の定期的なチェックと計画の見直しについて、PDCAサイクルの考え方をを用いる方法も良いが、定量分析をして評価をするならば、KPIの考え方をを用いる方法もあると思う。